

6. 事前対策リスト

災害時の応急対応を効果的に行えるよう、①事前対策リスト(自助)と、②事前対策リスト(共助)を考えましょう。

②事前対策リスト(共助)は、第3回ワークショップの議論をもとに、災害対応の「特に優先度の高い活動」とそのための「事前対策」をテーマ毎に検討し、まとめました。

(1) 事前対策リスト(自助)の考え方

▶ p27 参照

自助を普及啓発するために、災害に備えて日頃から家庭で準備しておきたい事柄をチェックリストにしました。いつも使っているものを災害時にも使えるように、分かりやすい場所に置いておくことが大切です。

(2) 事前対策リスト(共助)の考え方

▶ p28 参照

1) 「特に優先度の高い活動」の考え方

実際の災害では、限られた資源を特に優先度の高い活動に集中投下する判断が求められます。被害状況の把握とそれにもとづくその後の対応について、その優先度合いを考えます。

2) 事前対策(必要資源)の考え方

優先度が高い活動を円滑に進められるように必要な備えを行います。活動テーマごとの事前対策リストを、以下の「人、モノ、情報、空間」の視点で考え、作成しました。

「人」は、人材や組織を育て、地区内外の関係団体と連携すること、住民同士が交流し顔見知りの関係になること等が大切です。

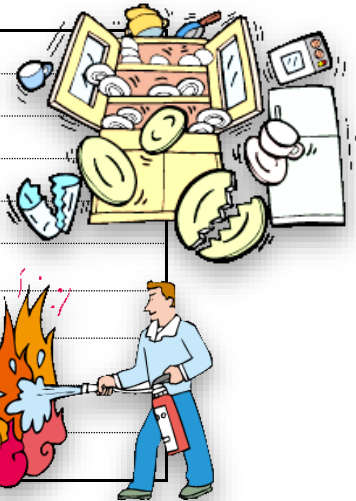
「モノ」は、救出・救護・搬送、消火等の対応に用いる資器材の配備、調達方法等を検討しておくことが大切です。

「情報」は、必要になる情報を整理し、情報収集・伝達の体制をつくり、情報連絡手段を準備し、訓練で動けることが大切です。

「空間」は、災害対応に必要な空間、安全な避難に必要な空間、災害に強い空間の整備、利用方法の検討等が大切です。

(3) 事前対策リスト(自助)

家の中の安全	<input type="checkbox"/> 家具が転倒しないように固定する
	<input type="checkbox"/> 耐震診断・耐震補強をする
	<input type="checkbox"/> 寝室には家具を置かないか、寝床に向かって転倒しないようにする
	<input type="checkbox"/> 玄関などの出入り口までは物を置かずに避難できるようにする
	<input type="checkbox"/> ベランダの避難用の隔壁、避難ハッチ周りに物を置かない
	<input type="checkbox"/> 家具の扉が揺れで開かないようにする（耐震ラッチなど）
	<input type="checkbox"/> 家具のガラス扉などは飛散防止フィルムを貼る
	<input type="checkbox"/> 寝室に靴やスリッパ、軍手（ガラスが飛散した場合に必要）
	<input type="checkbox"/> ほうき、ちり取り（掃除機は停電時使えない）
	<input type="checkbox"/> 消火器の設置場所と使い方の熟知



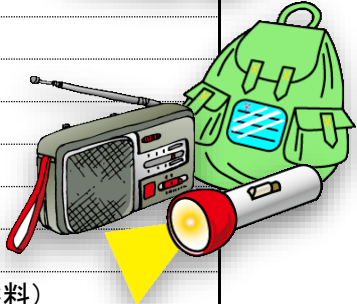
避難・救護	<input type="checkbox"/> 安否確認用ステッカー
	<input type="checkbox"/> ホイッスル（閉じ込め時に音を発するため）
	<input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤルなど家族の連絡方法の確認
	<input type="checkbox"/> 応急医薬品（絆創膏、消毒薬、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、目薬、持病のある人は常備薬など）



水や食料	<input type="checkbox"/> 飲料水；1人1日3リットルを最低3日分、7日分を推奨
	<input type="checkbox"/> 水用携行タンク（飲料水の配給時に必要）
	<input type="checkbox"/> 食料（レトルト、缶詰、インスタント食品、栄養補助食品、チョコレート等の菓子、最低3日分、7日分を推奨）
	<input type="checkbox"/> 生活用水（飲料しない水）；風呂の汲置き、やかんやポットに水を入れておく
	<input type="checkbox"/> 粉ミルク、離乳食（乳幼児がいる場合）、アレルギー対応食品
	<input type="checkbox"/> ガスカセットコンロ、予備のガスボンベ
	<input type="checkbox"/> ラップ（食器にかぶせて使えば洗わなくてよい）
	<input type="checkbox"/> 紙皿、紙コップ、割り箸



避難生活用品	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ（便袋）	<input type="checkbox"/> ガムテープ
	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー
	<input type="checkbox"/> ティッシュ（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯, ランタン, マッチ, ライター	<input type="checkbox"/> マスク
	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 衣類
	<input type="checkbox"/> 電池（余分に備蓄）	<input type="checkbox"/> 生理用品
	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 紙おむつ
	<input type="checkbox"/> 虫よけ用品	<input type="checkbox"/> 雨具
	<input type="checkbox"/> ビニールシート（敷物、雨よけ）	<input type="checkbox"/> 新聞紙（防寒、燃料）
	<input type="checkbox"/> 貴重品リスト	<input type="checkbox"/> リュック（物資の持ち運び用）
	<input type="checkbox"/> 情報収集先リスト（自治体 HP 等）	<input type="checkbox"/> 防災マップ



便利なもの	<input type="checkbox"/> ソーラーまたは手動充電器（携帯、電池用）	<input type="checkbox"/> 防災カード（住所、氏名、連絡先、既往症、通院先、薬アレルギー等）
	<input type="checkbox"/> 家庭用発電機	<input type="checkbox"/> ヘルメット・工具類
	<input type="checkbox"/> 蓄電池	<input type="checkbox"/> 公衆電話用 10 円硬貨

(4) 事前対策リスト(共助)

1) 建物倒壊への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	<ul style="list-style-type: none"> 一時集合場所に参集 対策本部の立上げ、活動体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> □対策本部構成を決める □参集対象者リストを作る（昼間と夜間）
②被害調査・分析	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集（生理者、ケガ人の調査） 被害状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> □被害調査をマニュアル化 情報収集範囲、役割分担、連絡方法 □防災マップを活用 □情報収集訓練の実施
	<ul style="list-style-type: none"> 応援要員の確保 	<ul style="list-style-type: none"> □役割分担を決めておく
③区に報告要請	<ul style="list-style-type: none"> 区に応援要請 	<ul style="list-style-type: none"> □区役所への連絡要員を決める
④救出・救護	<ul style="list-style-type: none"> 資器材の確保 生き埋め者の救出 ケガ人の応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> □防災倉庫の資器材整備 □調達先リストの作成、事業所との連携調整 □救出訓練の実施 □ケガ人発生の場合の対処法の確認
⑤病院へ搬送	<ul style="list-style-type: none"> 重傷者の搬送 	<ul style="list-style-type: none"> □搬送資器材の整備 □災害時対応病院のリスト作成、ルートの確認 □緊急医療救護所の設置場所を確認 □搬送訓練の実施

2) 高層住宅の被害への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	<ul style="list-style-type: none"> 安否確認、被害調査 フロアを中心とした活動 	<ul style="list-style-type: none"> □啓蒙活動(家具転倒防止等の自助) □高層住宅の安否確認ルールを決めておく 707単位の防災体制、対策本部の設置、役員(707長等)決定
	<ul style="list-style-type: none"> 対策本部を立ち上げる 	<ul style="list-style-type: none"> □対策本部の場所を決める、本部資器材を準備する
	<ul style="list-style-type: none"> 役員に情報を集約 	<ul style="list-style-type: none"> □情報の伝え方、まとめ方の決定 □安否確認訓練の実施 □資器材の準備（ハンドマイク等）
②対応方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> 対応方針の決定 指示（消火、救助活動など） 	<ul style="list-style-type: none"> □対応する優先順位を決定しておく 命に係わる問題を優先
③救出救護活動	<ul style="list-style-type: none"> 救出救護活動 救命救急、搬送等 	<ul style="list-style-type: none"> □救助方法のルール(専有部分への進入) □資器材を揃える(背負子、担架、薬等) □周辺空地の整理(活動場所の確保) □災害時の医療機関の確認 □搬送訓練の実施

3) 建物火災への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①参集	• 身の安全確保、家族の安否確認	<input type="checkbox"/> 各家庭での消火器設置等、自助の啓発
	• 火災発生場所の確認 • 火元に近い住民による初期消火を行う	<input type="checkbox"/> 昼間発災時の人員確保、事業所等との連携 <input type="checkbox"/> 消火訓練の実施 <input type="checkbox"/> 防災マップの利用啓発(資器材の場所)
	• 各町会の対策本部を設営	<input type="checkbox"/> 対策本部組織を作る
②被害調査分析	• 被害状況を報告(情報伝達)	<input type="checkbox"/> 情報の集約方法(どこに、誰が、どうやって)
③消火活動	• 組織的な消火器材の利用(スタッドパンプ、ミホップ等)	<input type="checkbox"/> 消火器材の準備、確認 <input type="checkbox"/> 消火訓練の実施
④報告要請	• 消防に出動要請 • 区に被害状況の報告	<input type="checkbox"/> 伝達方法の決定
⑤避難場所への誘導	• 避難路の確保 • 避難場所へ誘導	<input type="checkbox"/> 避難場所や経路の把握、代替ルート、誘導方法の検討 <input type="checkbox"/> 避難誘導訓練

4) 要援護者への対策

小テーマ	災害時、特に優先度の高い活動	事前対策
①安否確認被害調査	• 要援護者に声かけ、様子を確認	<input type="checkbox"/> 要援護者の把握…情報源(区役所、民生・児童委員)との連携 <input type="checkbox"/> 要援護者リスト、要援護者個別支援プラン(カード)の作成、マップの作成(どこに誰がいるか) <input type="checkbox"/> 役割分担(誰が誰の担当をするか) <input type="checkbox"/> 外国人対策 外国人の協力者を募る
②参集	• 本部設営、人員の確保	<input type="checkbox"/> 普段から住民との連携を図り、コミュニケーションをとる
②対応方針の決定	• 危険が迫るとき避難 • 本部での情報集約 判断・指示 • 自宅待機、搬送の判断	<input type="checkbox"/> 避難誘導の方針決定 <input type="checkbox"/> 町会防災対策本部の整備
③ケガ人の対応	• ケガの応急手当 • 重症時の搬送 • 応急時には集会所へ	<input type="checkbox"/> どこに搬送するか避難所・拠点病院の把握 <input type="checkbox"/> 人員、リヤカー、高層棟担架等の準備 <input type="checkbox"/> 応急手当、搬送の訓練する
④在宅避難者支援	• 物資の支給、定期的な見守り	<input type="checkbox"/> 物資支給、搬送計画を決める <input type="checkbox"/> 普段から訓練する
⑤区に報告要請	• 区に応援人員要請	<input type="checkbox"/> 区への連絡要員の確保

おわりに

(1) 地区防災対策に関わる「論点」

ワークショップの議論では、地区防災対策に関して参加者の意見が分かれたり、よい解決策が見つからない場合もありました。

そうした論点や悩みをテーマ毎に整理したのが下表です。今後とも、地域での話し合いのテーマとして、地域に合ったよい解決策を考えましょう。

テーマ	地区防災対策に関わる論点
①建物倒壊	<ul style="list-style-type: none">・建物被害の把握方法（建物被害、家具の転倒、生き埋め等）。・救出救護に関わる従事者の安全確保（体制、装備、情報提供等）。・救出救護のための資器材の確保（調達先情報、事業所との協定等）。・避難者が一部の避難所に集中しないための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）。・救出救助の活動ができるメンバーの増加方法（訓練等）。
②高層住宅	<ul style="list-style-type: none">・安否の確認方法・エレベーター停止時の救護、搬送方法の検討・停電時の混乱防止、情報伝達の方法決定、資器材の整備
③建物火災	<ul style="list-style-type: none">・火災被害の把握方法（出火点、延焼方向等）。・同時多発火災の場合の延焼阻止・避難の方法。・避難路・避難場所の安全性の確認方法（火災延焼による避難支障等）。・避難方法の代替案の確保（火災時の迅速な判断と避難者の誘導等）。・道路（歩道）の大渋滞を避けるための避難方法の検討（一時集合場所での方針決定等）・消火器具の増加方法および、活動ができるメンバーの増加方法と訓練。
④要援護者	<ul style="list-style-type: none">・安否情報の収集・整理・役割分担の方法（優先順位、行動手順等）。・要援護者支援の担い手確保の方策（民生・児童委員、福祉事業所との連携等）。・平常時における要援護者名簿の活用方法、「個別プラン」の作成方法。・外国人対策の検討（外国人との普段からの連携）。

(2) 本マニュアルの活用方法

本マニュアルの活用方法として下記のことが考えられますので、地域の皆さままで進めていきましょう。

- ① 防災の勉強会、地域住民への防災教育・啓発
- ② まち歩きと防災マップづくり
- ③ 「被災・対応シナリオ」に沿った防災訓練の企画と実施
- ④ 「被災・対応シナリオ」に沿った組織体制の見直し
- ⑤ 様々な事業所や関係機関との連携
- ⑥ その他、「事前対策リスト」の対応、整備

今後は、この「蓮根地区防災対策マニュアル」をもとに、各町会・自治会等の地区特性に応じた「わがまちの防災対策マニュアル」を作成することで、より一層きめ細やかな、実効性のあるマニュアルが完成します。